

愛媛県米・麦・大豆生産振興ビジョン

令和8年3月

愛媛県 農産園芸課

米・麦・大豆生産振興ビジョンの策定について

— 目標年度:令和12年度 —

■ 策定の趣旨 ■

本県の水田農業が活力を維持し、将来にわたって持続的に発展していくため、克服すべき課題や生産振興目標・方針、主要品目ごとの講ずべき施策を示した「愛媛県米・麦・大豆生産振興ビジョン」を策定する。また、本ビジョンは、今後10年程度先を見据えつつ、米・麦・大豆をめぐる情勢の変化を踏まえ、5年ごとに見直すものとする。

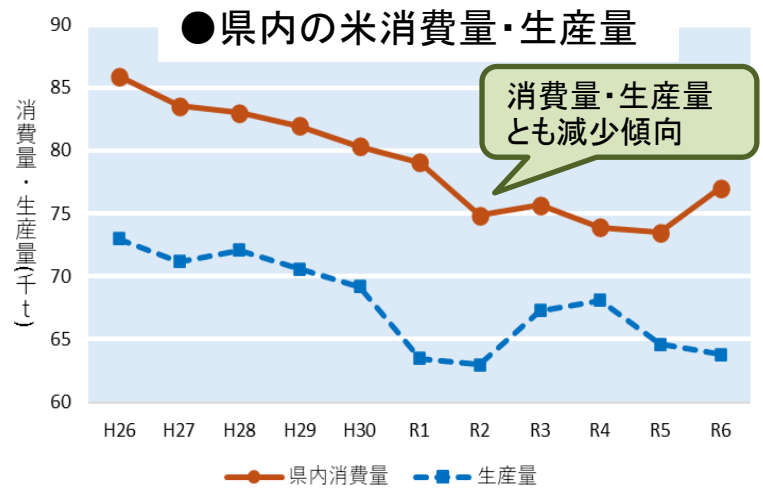
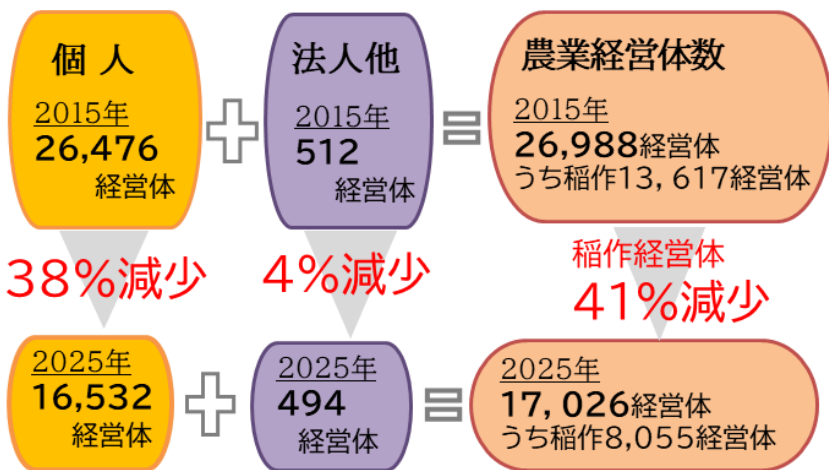
本県水田農業の現状

本県の水田農業は、農業者の高齢化と担い手の減少に加え、経営規模が零細で生産効率の低い農業構造にあり、水稻にあっては需要を下回る生産が継続し、作付面積、生産量とも減少傾向にある。

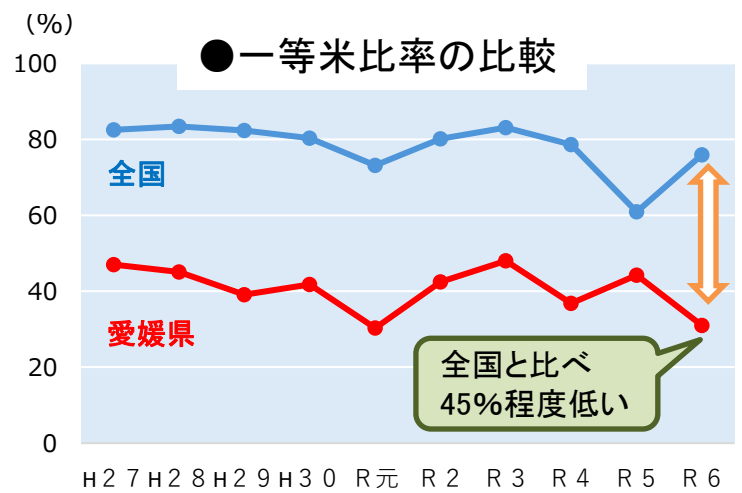
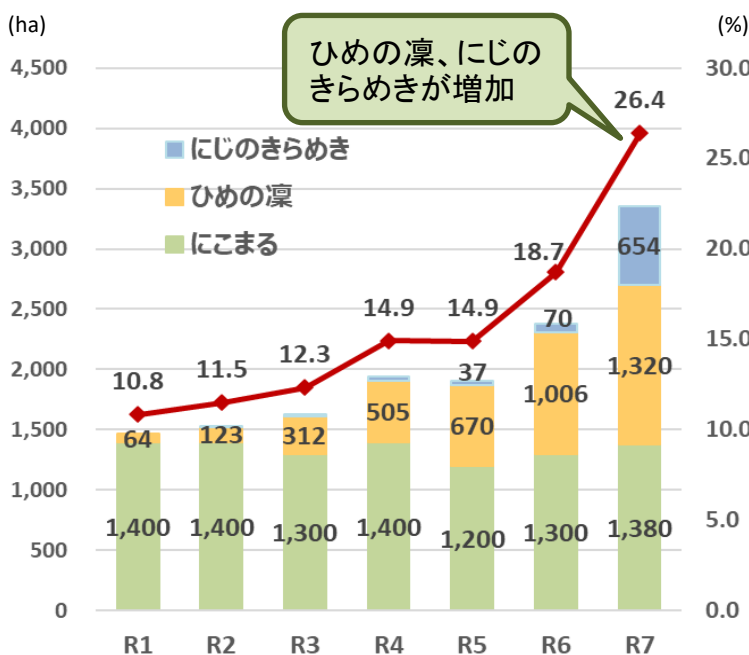
また、近年の気候変動に伴い、水稻は高温による生育障害で品質等の低下が顕著であり、麦・大豆は降雨等による収量、品質が不安定な状況となっている。

さらに、生産流通基盤の維持に重要な役割を果たしている乾燥調製施設や育苗施設の老朽化が進み、機能低下や維持管理経費が増加している。

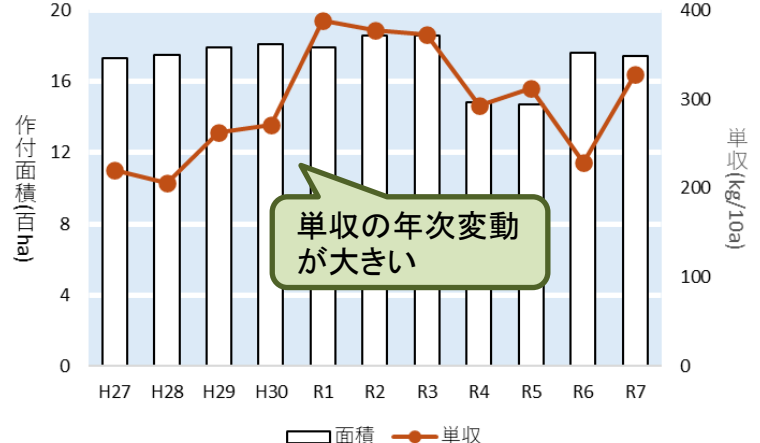
● 10年前に比べ担い手減少(愛媛県)



● 高温耐性品種の作付面積の推移



● はだか麦の作付面積と単収



克服すべき課題

現状を克服するためには、多様な担い手の確保・育成と農地の集積・集約の加速化に併せて基盤整備による水田の大区画化・汎用化を推進し、スマート農業技術等の導入により省力化・効率化を進め、担い手の生産性向上を図る必要がある。

気候変動に伴う高温障害等の抑制については、本県育成品種「ひめの凜」などの高温耐性品種の導入や品種構成の見直し、適時適切な施肥や水管理などの対策技術の導入を進める。また、良食味や健康意識の変化に対応した実需のニーズにも対応していく必要がある。

加えて、各産地では、老朽化した共同利用施設の計画的な修繕等を進めているが、地域の実情等を踏まえ、持続可能な産地の将来あるべき姿に向けた施設の再編集約・合理化を推進する必要がある。

米・麦・大豆の生産振興に係る課題と対応策(令和12年度目標)

本県水田農業の現状

- ◆ 農業者の高齢化と担い手の減少
- ◆ 経営規模が零細で生産効率が低い農業構造
- ◆ 県内消費を賄えないなど需要を下回る主食用米の生産
- ◆ 水稻作付面積・生産量の減少
- ◆ 高温障害等による水稻の品質低下
- ◆ 生産量・品質が不安定な麦・大豆
- ◆ 共同利用施設（乾燥調製施設、育苗施設）の老朽化

取り組むべき事項

- ◆ 多様な担い手の確保・育成と農地の集積・集約化の推進
- ◆ 基盤整備による水田の大区画化・汎用化の推進
- ◆ スマート農業技術等の導入による担い手の生産性向上
- ◆ 気候変動に対応した品種構成の見直しと高温対策技術の導入推進
- ◆ ひめの凜の生産拡大と高品質安定生産の実現
- ◆ 実需者ニーズに対応した米・麦・大豆生産の推進
- ◆ 持続可能な水田農業を見据えた共同利用施設等の再編・整備

振興目標

『生産・供給体制の強化による持続可能な水田農業の実現』

振興方針

《7つの重点施策》

- 1 米・麦・大豆安定生産体制の確保と維持
- 2 気候変動に対応した米・麦・大豆生産の推進
- 3 高温耐性品種の作付け拡大による儲かる米づくりの推進
- 4 スマート農業や省力栽培技術の導入による生産性向上
- 5 水稻とはだか麦の二毛作体系の推進による水田の高度利用
- 6 優良種子の安定生産・安定供給体制の維持・強化
- 7 共同利用施設の再編集約・合理化による集荷体制等の維持・強化

今後5年先のあるべき姿

今後5年間の水田農業の目標を『**生産・供給体制の強化による持続可能な水田農業の実現**』とし、各産地が地域の特色をいかしながら、広く関係者が連携し、持続可能な水田農業の生産・供給体制を構築する。

また、多様な担い手の確保や規模拡大、単収向上やコスト低減など通じて生産性の向上等を図り、需要に応じた生産を確実に確保していくこととする。

■今後5年先のあるべき姿(数値目標)■

●主食用品種の作付け面積推移

作付面積(ha)	7年産 (見込)	12年産 (目標)
水稲	12,700	11,900
コシヒカリ	4,450	4,000
あきたこまち	1,300	0
にじのきらめき	654	2,300
ヒノヒカリ	2,150	600
にこまる	1,380	1,700
ひめの凜	1,320	2,200

●麦類の生産拡大目標

作付面積(ha)	7年産 (見込)	12年産 (目標)
麦	2,100	2,000
はだか麦	1,750	1,700
小麦	350	300

●大豆の生産目標

作付面積(ha)	7年産 (見込)	12年産 (目標)
大豆	280	250



7つの重点施策（振興方針）①

振興目標達成のため、「7つの重点施策」として取り組む指針をまとめた。

重点施策1：米・麦・大豆安定生産体制の確保と維持

米・麦・大豆の安定生産に向け、法人や集落営農組織、認定農業者のほか農業支援サービス事業体など多様な担い手の確保と、基盤整備等により大区画化・汎用化した農地を担い手に集積し、生産体制の確保・維持を図る。

- ・ 主食用米・酒米については、需要を下回る生産が継続しており、作付面積・生産量とも減少傾向であることから確実な生産を確保していくこととする。
- ・ 飼料用米などの新規需要米や加工用米については、実需者との連携を強化し、コスト低減等に取り組み、多様な実需に対応できる生産を進める。
- ・ はだか麦については、需要に応じた安定生産を推進することとし、味噌や押し麦などの利用だけでなく新たな需要を開拓するとともに、機能性成分を有する点をPRし消費拡大に取り組む。

重点施策2：気候変動に対応した米・麦・大豆生産の推進

基本技術の徹底を図ったうえで、気候変動による被害の回避・軽減に向け、安定生産技術の開発・実証やその速やかな普及を進めるとともに、高温耐性や病害虫抵抗性等を有する品種の導入を推進する。

米：高温障害対策技術（追肥・水管理等）の推進

麦：は種、収穫時期の降雨に対する排水対策や、病害に強い品種の導入

大豆：夏期（開花期から子実肥大期）の乾燥を避ける畝間灌水と、収量の多い新品種の導入

重点施策3：高温耐性品種の作付拡大による儲かる米づくりの推進

水稻は高温障害が深刻な課題となっており、特に早期・短期栽培品種の「あきたこまち」と、普通期品種の「ヒノヒカリ」の品質低下が顕著であることから、それぞれ「にじのきらめき」や、「ひめの凜」「にこまる」等の高温耐性を有する品種への更新・作付拡大を進め、高品質・安定生産を図り、儲かる米づくりにつなげる。

《にじのきらめき》

作付面積が急速に拡大する一方、導入間もないことから、品質・収量のバラツキがみられるため、講習会や現地指導等により技術の習得を図る。

《ひめの凜》

更なる作付拡大を進める中、品質を維持するため認定栽培者制度を継続するとともに、デジタル技術等を活用して栽培技術の高度化を図り、高品質安定生産体制を確立する。

また、県内外での販売促進等を通じ、本県初の高級米としてのブランド化に取り組み、全国に通用する銘柄米の地位を目指す。

7つの重点施策（振興方針）②

重点施策4：スマート農業や省力栽培技術の導入による生産性向上

施肥・防除ドローンや、直進アシストトラクタ、水位センサー等のスマート農業機械の導入を計画的に進めるほか、専用肥料による追肥作業の簡素化や、米の直播栽培及び再生二期作等の省力栽培技術、麦の畝立て同時播種等の技術改善により省力化・効率化を進め生産性向上を図る。

また、大規模化が進んでいる平坦部、大区画化が難しい中山間地、それぞれの地域に適した低コスト・省力技術を検証し、生産現場への導入を推進する。

重点施策5：水稲とはだか麦の二毛作体系の推進による水田の高度利用

普通期水稲とはだか麦の二毛作体系を本県の目指すべき代表的な経営モデルの一つと位置づけ、基盤整備による大区画化・汎用化や担い手への農地集積による規模拡大、高性能機械やスマート農業技術の導入促進にも取り組むなど、効率的で低コストな生産体制の構築を図る。

重点施策6：優良種子の安定生産・安定供給体制の維持・強化

優良な種子は、県産米麦の品質確保と安定的な生産に欠くことのできない重要なものであるため、種子生産を担う農業者や乾燥調製・供給を行う種子センターの老朽化した機械や設備の導入・更新を進める。

また、高齢化等により減少している種子生産者の新規参入を促すとともに、優良種子生産に向けた技術指導等を充実させる。

さらに、水稲の高温耐性品種の導入に伴い、種子産地における栽培品種の絞り込みを行い、効率的かつ安定的な生産体制を構築する。

重点施策7：共同利用施設の再編集約・合理化による集出荷体制などの維持・強化

米麦産地の生産基盤を強化するため、老朽化した米麦共同利用施設（共同育苗施設、カントリーエレベーター等）の再編集約・合理化に取り組む産地を支援し、持続可能な水田農業の実現を目指す。

主要品目ごとの講ずべき施策

■品目ごとの取組■

(1) 米

米の生産については、温暖化による品質低下、気象災害へのリスク回避のための、高温耐性品種への切替えによる収量・品質の確保をはじめ、農地の集積と集約化による分散錯ほの解消や作付けの連担化・団地化、規模に応じた機械・設備の計画的な導入・更新、スマート農業技術等による効率化を推進し、生産性向上を目指す。

特に「ひめの凜」については、技術力の更なる底上げにより収量・品質を向上させるとともに、県外販売を進めながらブランド力の強化を図る。



(2) 麦

麦の生産については、は種・収穫時期の降雨などによる品質低下を防ぐための排水対策のほか、土入れ・麦踏等基本技術の徹底と、収量向上に資する土づくりやスマート農業技術等による生産コストの低減を推進するとともに、耐病性・加工適性に優れた新品種の導入を図る。

また、基盤整備による水田の汎用化、作付けの連担化により生産性向上を図り、豊凶差の解消に努めることで、実需者の求める量・品質に着実に応える。



(3) 大豆

大豆の生産については、作付けの連担化・団地化やスマート農業技術等による生産コストの低減、基盤整備による水田の汎用化、排水対策の更なる強化、適地での栽培推進、収量向上に資する土づくり等を推進し、生産性向上を図る。

品質・収量低下が課題となっている「フクユタカ」から、多収新品種「そらたかく」「そらみのり」など収益性の高い有望系統への転換を検討・推進する。



(4) 共通

水稲とはだか麦の組み合わせや、早期米とブロッコリー等の野菜を組合わせた二毛作体系の推進により、水田の高度利用を図る。

また、農地の大区画化等を推進し、担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を進め、水田農業の競争力を強化する。

さらに、多様な担い手の確保・育成を支援し、中山間地域の水田農業の維持や生産性向上を図り、消費者や実需者のニーズに対応した生産体制や優良種苗供給体制を一層強化するとともに、育苗施設、乾燥・貯蔵施設の再編集約・合理化のほか物流効率化を推進する。

【参考】本県米・麦・大豆の振興に係る役割分担

各組織と主な役割

1. 農業者・農業法人

➤ 作物生産と食の安定供給

➤ 農村・農地の維持



2. 市町段階

【JA】

➤ 産地の生産指導

➤ 農産物の集出荷・販売

【市町】

➤ 地域計画の推進

➤ 農地集積



【地域農業再生協議会】

➤ 水田フル活用の推進

➤ 関連事業の周知

【普及組織】

➤ 産地のコーディネート

➤ 技術の普及・指導

➤ 担い手の確保・育成

3. 県段階

【JA全農】

➤ 農業資材の供給

➤ 農産物の販路拡大

【米麦振興協会】

➤ 米麦の生産振興（品種別作付計画の策定）

➤ 種子の生産及び供給

【県農業再生協議会】

➤ 生産の目安の設定

➤ 水田フル活用の推進

【県・農林水産研究所】

➤ 振興ビジョンの策定・進行管理

➤ 原原種、原種の生産

➤ 新品種の育成

➤ 新技術の開発・確立



4. 国段階

【農林水産省・農政局】

➤ 需給見通しの算出

➤ 予算措置（水田活用直接支払交付金等）

振興施策と関係機関の取組

—国・県・市町等の振興事業の内容と取組み—

(1) 国の施策

■新たな食料・農業・農村基本計画

- 農地総量の確保、サステナブルな農業構造の構築、生産性の抜本的向上による「食料自給力」の確保
- 輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」を強化
- 食料システム関係者の連携を通じた「国民一人一人の食料安全保障」の確保
- 「食料システム全体で環境負荷の低減」を図りつつ、多面的機能を発揮
- 地方創生2.0の実現のための「総合的な農村振興」、「きめ細やかな中山間地域等の振興」

(2) 県の事業

○水田農業生産体制強化支援事業

生産振興ビジョンの策定による本県水田農業の持続的な発展に向けて、収益性の高い営農を推進するとともに、生産・供給体制の強化を目指す産地に対し支援

- ①需要に応じた生産振興の推進
- ②水田農業生産体制強化に係る機械の導入支援等

○優良種子生産体制強化事業

奨励品種種子の安定的な生産量の確保、生産支援対策の実施
愛媛県の未来を創る農業・農村振興条例(第18条)

○ひめの凜産地強化支援事業

ひめの凜の更なる生産拡大と生産基盤の強化やブランディングを一体的に行い、ひめの凜を核とした儲かる水田農業の確立を目指す

- ①優良種子等の供給体制強化
- ②栽培者の技術の高位平準化
- ③ブランド確立に向けた支援

○米麦共同利用施設再編整備事業費

米麦産地の生産基盤を強化するため、地域農業を支える老朽化した米麦共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地を支援。



(3) 地域農業再生協議会・JA等の取組み事例

○地域水田収益力強化ビジョン(18協議会)

地域協議会で地域の特色ある魅力的な産品の産地づくりに向け、対象作物ごとに目標を設定し取組みを実施

○JAの営農振興計画

各JAで振興計画を作成し、地域農業の振興に向けた取組を実施